

## 令和元年度第2回尾張旭市学校給食運営委員会会議録

### 1 開催日時

令和2年2月18日(火)

開会 午後1時30分

閉会 午後2時30分

### 2 開催場所

尾張旭市学校給食センター 食育指導室

### 3 出席委員

委員長 松本浩一

副委員長 山本陽子

委員 松原智憲、秋田咲余、浅井真理子、伊藤祐子、伊戸川みどり、藤村育子、伊藤彰浩、長谷川環 10名

### 4 欠席委員

金森 俊輔、岩瀬由知、柴田麻里子、村上洋 4名

### 5 傍聴者数

0名

### 6 出席した事務局職員

教育部長 大津公男、所長 鬼頭純子、係長 戸田慎也、副主幹 森永久美、  
栄養教諭 曾根規容子、栄養教諭 浅野絵梨、栄養教諭 大澤綾奈

### 7 議題等

#### (1) 報告事項

ア 令和元年度学校給食実施状況について

イ 令和元年度学校給食センター食育事業(4月～12月)について

#### (2) 協議事項

ア 令和2年度学校給食センター事業計画について

イ 令和2年度学校給食センター食育事業計画について

#### (3) その他

## 8 会議の要旨

委員長	<p>委員出席状況を報告</p> <p>委員14名中10名の過半数の出席で会議成立を報告</p> <p>会議公開を通知</p> <p>配布資料の確認</p>
教育部長	(教育部長あいさつ)
委員長	<p>次第2 報告事項(1)「令和元年度学校給食実施状況について」を事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	1「令和元年度学校給食実施状況について」説明
委員長	<p>ご質問、ご意見等はございませんか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>では、次の報告事項(2)「令和元年度学校給食センター食育事業(4月～12月)について」事務局より説明をお願いします</p>
事務局	2「令和元年度学校給食センター食育事業(4月～12月)について」説明
委員長	<p>ご質問、ご意見等はございますか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>協議事項1の「令和2年度学校給食センター事業計画について」を事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	1「令和2年度学校給食センター事業について」説明
委員長	<p>ご質問、ご意見等はございませんか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>それでは、協議事項1「令和2年度学校給食センター事業計画について」提案どおり承認される方は挙手をお願いします。</p> <p>(挙手全員)</p> <p>挙手全員により本案は承認されました。</p> <p>続きまして、協議事項2の「令和2年度学校給食センター食育事業計画について」を事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	2「令和2年度学校給食センター食育事業計画について」説明
委員長	<p>ご質問、ご意見等はございませんか。</p> <p>(質問なし)</p> <p>それでは、協議事項2の「令和2年度学校給食センター食育事業計画について」提案どおり承認される方は挙手をお願いします。</p> <p>(挙手全員)</p> <p>挙手全員により本案は承認されました。</p> <p>それでは、協議事項1、2については事業計画に沿って、事業の展開をお願いします。</p> <p>続きまして、次第4「その他」について事務局より説明をお願いします。</p>
所長	<p>冒頭の部長からのあいさつにもありましたが、昨年7月に開催しました、第1回目の運営委員会でお話ししました、牛乳容器変更について、改めてご紹介いたします。</p> <p>愛知県下の学校牛乳は、4つの乳業者から供給されていますが、各自治体が業者を選ぶのではなく、愛知県の行う入札によって例年2月下旬に決められています。</p> <p>尾張旭市は数年来、雪印メグミルクから供給を受けていることから、4月以降も同様に雪印メグミルクから供給されることが想定されます。</p> <p>雪印メグミルクでは、製造コストや設備の維持管理の問題から、令和元年度でびんでの生産ラインを廃止し、紙容器に変更することを決定しております。そのため、4月からは、牛乳は紙容器で届けられ、付属品としてプラスチックストローが付く予定です。</p> <p>今まで、飲み終わった牛乳びんは雪印メグミルクが回収し、再利用されてきましたが、紙容器はゴミになるため回収してもらえません。また、紙容器のリサイクルは、ペットボトルと同様、中国への輸出が困難な状態であり、現状では、古紙回収業者は引き取れない状況にあります。</p> <p>したがって、紙容器やストローは市が回収し、基本的に、紙容器は事業系一般廃棄物、いわゆる燃えるゴミとして焼却処分に、ストローは産業廃棄物として扱われます。学校には、紙容器とストローの分別回収に協力していただくよう、校長会を通じてお願いしております。また、3月10日には、紙容器での試飲を予定しております。</p> <p>近隣の自治体では、瀬戸市、長久手市、日進市も雪印メグミルクから</p>

	<p>牛乳を供給されていますので、4月からは一斉に紙容器になります。処分方法についても、本市と同じ方向性で進めておられます。</p> <p>容器変更の件は、12月25日に開催されました定例教育委員会でも報告いたしました。委員の一人から、ストローについて、環境に配慮して、プラスチックではなく、紙のストローの使用を推奨される意見をいただきましたが、乳業者からは、紙のストローはプラスチックの20倍の生産コストが掛かり、乳業者にとっても、現状の牛乳の価格では対応できないと報告を受けていることをお答えいたしました。</p>
委員長	牛乳のびんから紙パックへの変更について、見本も見ていただきましたが、何かご質問はありますか。
伊戸川委員	(紙パック牛乳も) 200ml入っていますか。
所長	牛乳びんと比べて小さいので入らないような気がしますが、きちんと200ml入っています。
事務局	市販品でも、雪印メグミルクの200mlの牛乳があります。
藤村委員	飲むときは、(紙パックの)口を開けて飲むものですか。それとも、ストローが挿せますか。
事務局	ストローを挿して飲みます。
藤村委員	飲み残した場合は、回収して、紙パックを開けて分別するのですね。
所長	飲み残しの処理については従来と同じですので、給食センターで容器ごと回収し、牛乳を処理していきます。
藤村委員	先日、試食会で牛乳を美味しくいただきましたが、子ども達のご飯を食べてから牛乳を飲むのですか。それともご飯を食べながら牛乳を飲むのですか。何もなくて200mlの牛乳が飲めるのでしょうか。
委員長	飲み方は、子どもそれぞれですので、ご飯を食べながら牛乳を飲む子どももいますし、あとから牛乳だけ飲む子どももいます。
藤村委員	<p>牛乳が残っているという現状を考えると、何か飲めるような環境を用意することが必要だと考えられます。</p> <p>寒い時期に冷たい牛乳を、何もなくすぐに飲むのは難しい。ご飯やおかずの中に牛乳を入れるような献立にするのはどうでしょうか。牛乳を飲ませようとするなら、そのような方法はどうでしょうか。</p>
曾根栄養教諭	<p>洋風のメニューのシチューなどでは、牛乳をふんだんに使っていますが、洋風のメニューにはだいたいパンがつきます。パンは週に一回ですが、週に一回必ずシチューのようなメニューになるわけではありませんので、そこがなかなか難しいところです。</p> <p>また、乳のアレルギーも増えてきているので、色々な料理に乳を使うことは危険であるため、シチューならシチューだけと集中して使用しています。</p>

藤村委員	初歩的なことを伺いますが、自分の子どもの頃は、給食はほぼパンでご飯はありませんでしたが、パンからご飯に移行された背景は何ですか。
曾根栄養教諭	日本人なので、ご飯をもっと食べていかななくてはいけないという考え方があります。健康上を考えると和食の方がいいですし、食料自給率もどんどん下がってきているので、本当はもっとご飯を食べないといけないのですが、実は子どもたちがご飯を食べなくなってきたり、ご飯が残らないように、ご飯の規格（分量）をどんどん下げています。 市によっては、週4．5回ご飯であったり、パンを提供しない市もありますが、たまには、麺やパンやいろんなバリエーションを提供したいので、尾張旭市では週に3．5回ご飯を出しています。
委員長	他に質問はありませんか。
伊戸川委員	子どもたちが大好きなミルメークはどうなりますか。
曾根栄養教諭	液体状のミルメークになります。味が3種類に限定されますが、今後、紙パックになっても提供していきます。
	(液体状ミルメークの見本を委員に提示)
所長	今後は他の市町もびんから紙パックになりますので、それに対応した商品をメーカーも考えていますが、味の種類が少なくなること、若干価格が高くなることはやむを得ないことだと考えています。
委員長	紙パックのごみの回収ですが、学校の立場として毎日やっていただけるのでしょうか。
所長	ごみの回収につきましては、給食センターではなく教育行政課が主体になります。まだ正式に給食センターも聞いてはいませんが、ほぼ毎日回収することになるとの情報を得ています。学校への正式な報告は、教育行政課から受けていただくことになると思います。
委員長	通常、一般ごみは週2回の回収ですが、回収までに3日あるとしたら、旭中だと28クラスありますので、毎日ごみがどのくらいたまるのか、臭いはどうなのか心配があります。そのようなことから、校長会として毎日の回収を要望しているところです。
教育部長	また教育行政課から正式にお答えさせていただきます。
委員長	牛乳の関係では他にありませんか。
山本委員	シチューの日はお茶にすることはできませんか。牛乳が苦手な子どもからすると、毎日牛乳を飲むことは苦痛だと思います。 栄養の面から牛乳を飲んだ方がよいということは昔から決まっているので、それならば、シチューなど、牛乳がふんだんに使われている献立の日は、お茶にすることはできませんか。牛乳が余るくらいなら、お茶の日があってもいいのではないのでしょうか。
曾根栄養教諭	愛知県は完全給食を行っているため、牛乳を必ず提供することとされ

	ています。
山本委員	なぜ決まっているのですか。
曾根栄養教諭	成長期の子どもたちは、成長に欠かせない栄養やカルシウムを摂る必要があるので、牛乳は必須となっています。決められた中で、どのように飲んでもらおうかと考えています。
所長	<p>学校給食法の中では、給食の提供には牛乳だけ提供するミルク給食、おかずと牛乳を提供する補食給食、それから今栄養教諭が申しあげました、おかずとご飯、牛乳を合わせました完全給食の3つのパターンがありますが、いずれにも牛乳が含まれています。</p> <p>先ほどクリームシチューの話がありましたが、クリームシチューの中で使われている牛乳は量的には少ないので、必要なカルシウムを摂るには牛乳からになります。</p> <p>それと、ご家庭でも牛乳を飲まない方がある中で、成長期の子どもたちには、一日の子どもたちの必要摂取量の約3分の1を給食から提供していますが、カルシウムはそれより若干多めに摂るよというこことで、牛乳は学校給食において非常に大きなポイントになっています。</p>
山本委員	牛乳からカルシウムはすごく摂れるということなんですね。
曾根栄養教諭	カルシウムは特に不足していて骨折しやすいなどの心配もあることから、国は一日のうちの半分は、給食からカルシウムを摂らせなさいと決めています。そのため、給食から牛乳がなくなると、カルシウムがかなり減ってしまいます。
委員長	他にありますか。
浅井委員	残さいについて気になっています。量が決められていて、メニューも考えられ作られていることはわかりますが、この中に、食べたいのに時間がなくて食べられない残さいがどのくらいあるのか。給食の準備に時間がかかってしまうとか、4時間目が延長してそのまま給食の時間までかかってしまい、食べる時間が短いという話をよく聞きます。そのようなことで、食べたいのに食べきれないまま時間切れで残ってしまう量がどのくらいあるのか数字の上では出てこないと思います。給食の時間を見ることは難しいのですが、普段はどのような感じですか。
委員長	小学校はいかがでしょうか。
長谷川委員	そういうことがないように指導していかないといけないと思っています。
浅井委員	準備にとっても時間がかかっているようで、先生によって、どのようにしたら早く準備できるかを話し合い、改善しているクラスもあれば、手つかずのままのクラスもあります。大人から見れば、もっと早くできる方法があるような気がします。

所長	<p>今、ご指摘のことは、給食センターはあくまで給食を作る場で、配送後は学校にお任せになりますが、一般的に、もう少し食べる時間が長くなれば残さいが減るという事は、いろいろな所でよく言われています。学校給食の課長会議の中でも、そのような話が出ており、愛知県全体でも給食の残さいは大きな問題となっています。これは給食だけの問題ではなく、学校全体のカリキュラムにも大きく関わることで、給食センターが食べる時間を増やして欲しいと要望するのは難しいところがありますけれど、今後もこのような話を申し上げていきたいです。</p>
伊藤委員	<p>準備に時間がかかるといっても、低学年であれば白衣の数を増やして、人数を多くするようなことをしていますし、高学年であれば慣れているので、準備に10人は要らないというようなこともあります。</p>
浅井委員	<p>中には慣れてくると準備に動かない子も出てくるようです。何かもう少し改善できればと思います。</p>
伊藤委員	<p>校長会でも話題にしなければいけないと思いますので、また個別にでも学校へ相談するといいと思います。</p>
委員長	<p>他にありますか。</p>
所長	<p>他にご意見はないようですので、皆さまの運営委員としての任期は6月30日までですが、特に必要がない限り、運営委員会のご出席は今日が最終日となる予定です。給食センターでは、何よりも食の安全を大切にして、衛生面には十分注意をして、これからも給食を提供していきますので、皆さまには、今後も学校給食の安全安心を見守っていただければ幸いです。</p> <p>給食センターができて10年が経ちまして、給食の調理施設に故障などの問題が増えてきました。来年から10年の期間に、給食の厨房機器の更新計画をたてまして、給食が滞りなく安全に届けられますように、今後も努力していきたいと思います。</p>
委員長	<p>最後に全体として何かありますか。</p> <p>無いようですので、いろいろご審議いただきましてありがとうございます。以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。長時間にわたりご審議をいただき、ありがとうございました。</p>